

消化器内科 医局のご案内  
学生・研修医のみなさまへ

臨床の現場において腹部症状を訴える患者さんは非常に多く、その診断・治療には高度な臨床能力が要求されます。当消化器内科では正確な診断能力と高度な診療技術を身につけるため、専門のスタッフを擁立し安全で効率的な研修ができるよう体制を整えております。

現在、我々消化器内科には教授以下 38 名の医師と、関連病院に勤務している医師 7 名の計 45 名の医師が在籍し、日夜、臨床、研究、教育に励んでおります。当科は消化管グループ、肝臓グループ、胆膵グループと 3 つのグループに分かれており、それぞれの専門医によるチーム医療が行われております。専修医（後期研修医）は、高度な医療技術と診断能力を身につけるため、それぞれのグループを 4 ヶ月ごと 1 年間かけてローテートします。その後は、専門性の高い病院など希望にあった関連病院に赴任、大学病院で引き続き消化器内科医として必要な技術を身につけるべく医員助教として勤務、あるいは、大学院に入学し基礎医学分野の研究を行い、学位を取得するなど、自身のライフプランに合わせた選択が可能であり、一般市中病院にはない大学病院ならではの特徴があります。

その一方で、当院は大学病院でありながら、一般市中病院としての機能を兼ねそろえているためプライマリケアや救急治療などの充実した研修をおこなえるので将来についての様々な希望や可能性を実現することができます。

ぜひ一度、愛知医科大学消化器内科へご見学にお越しく下さい。当科および当院をご見学いただければ、あなたの将来についてなにか方向性が見えてくるかもしれません。

### 研修目標、年次計画

3 年次：胃透視検査、注腸検査の撮影と読影。

上部消化管内視鏡検査。大腸内視鏡検査。ERCP。

イレウス管挿入などの基本的手技。

腹部エコーの手技と診断。

肝腫瘍生検。経皮経肝エタノール注入療法 (PEIT)。食道静脈瘤結紮療法 (EVL)。

4 年次：内視鏡的消化管止血術。内視鏡的異物除去。

大腸ポリープ切除などの比較的簡単な内視鏡的治療。

PTBD。

経皮経肝マイクロ波凝固療法。ラジオ波凝固療法。食道静脈瘤硬化療法 (EIS)。

5 年次：胃腫瘍、早期胃癌、大腸癌に対する内視鏡的粘膜切除術 (EMR)、切開剝離術 (ESD)。

ERBD, ENBD。

## 研修の現状

現在、当消化器内科には教授以下 38 名の医師が在籍しています。具体的には、消化管グループは 16 名の専門医、肝グループは 5 名の専門医、胆膵グループは 4 名の専門医が中心となって臨床業務をおこなっており、さらに 11 名の専修医（後期研修医）が各グループを 4 ヶ月ごとにローテ研修しています。また、各グループ内では患者を共有しているため、1 人の入院患者を 2-3 名の医師（専門医+専修医+初期研修医）で受け持ちますので、単独で患者を診療することはありません。当直は平日 1-2 回/月、休日は 0.5-1 回/月程度の回数です。当然ですが、緊急時に備え昼夜を問わず 365 日待機を敷いているため、いかなるときも安心して当直することができます。一般病院では考えにくいことかもしれませんが、大学病院では、大学からの給料が一般水準に比べ低いため、週 1 日程度近隣の病院へアルバイトに行きます。アルバイトの内容は、外来診察、検査、入院患者の回診診察などさまざまです。こういったアルバイトの給料と大学からの給料を合わせますと、一般病院とほとんど同じ水準の年収になります。患者を 2-3 名の医師で受け持っているため、アルバイトや所用などで病院に不在の時間帯は、同じグループの他の医師が治療検査・回診などを行います。土曜は、グループ内の医師が交代で勤務待機しますので、事前に休日の予定を立てることができますし、学会、研究会へも積極的に参加できます。このように、若い先生方のキャリアアップやリフレッシュをサポートするシステムになっております。また、当科には女性医師が 4 名在籍し、関連病院に 1 名赴任しております。そのうち 3 名は既婚者で、1 名は育児をしながら勤務をしています。女性医師にとって医師としてキャリアアップを目指しながら家事や育児を両立することは本当に大変なことです。当医局におきましては、そういった状況に医局全体で協力するように努めております。急な事情による休暇、早退、業務の交代等も日常的に支障なく行われております。時間的な融通が利くのも多数の医局員が在籍している賜物といえるでしょう。消化器内科は女性医師の仕事と家庭の両立を全面的に支援する女性に優しい医局であります。

## 取得できる資格

日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、指導医、日本肝臓病学会専門医、指導医、日本消化管学会胃腸病認定医、癌治療認定医など多数。

### 医師としての様々なライフプラン（例）

初期研修	3年		6年
	後期研修(専修医)		専門研修
	後期研修(専修)	大学院(博士号取得)	専門研修・研究
	関連病院赴任		専門研修
	後期研修(専修医)		大学院(博士号取得)
	後期研修(専修)	関連病院赴任	大学院(博士号取得)

他にも、ご希望に沿ったライフプランの設計が可能です。また、ご希望によっては海外留学、国内留学も可能です。

#### 赴任病院（平成 24 年 7 月現在）

- 名古屋第二赤十字病院 消化器内科 1名
- 名古屋市立西部医療センター 消化器内科 1名
- 名古屋市立東部医療センター 消化器内科 1名
- 旭労災病院 消化器科 1名
- 春日井市民病院 消化器科 1名
- 愛知厚生 連尾西病院 内科（消化器内科）1名
- 岐阜県立多治見病院 消化器内科 1名

（文責：医局長 小笠原尚高）